



CONTENTS

- ・岩手県土地改良事業団体連合会
第66回通常総会を開催 ……2
- ・令和5年度土地改良功労者表彰 ……3
- ・本県から2土地改良区、2氏が栄誉に輝く ……4
- ・農を守り、地方を創る予算の確保に向けて ……5
- ・農林水産省、財務省への要請をスタート ……6
- ・農林水産省へ農業農村整備の
着実な推進を要請 ……7
- ・岩手県へ農業農村整備の着実な推進を要請 ……8
- ・岩手県ため池サポートセンターが開設 ……8
- ・土地改良団体における男女共同参画の推進を ……9
- ・令和5年度いわて水土里ネット女性の会
総会を開催 ……9
- ・いわて水土里ネット女性の会 会員募集！！ ……10
- ・第46回全国土地改良大会
千葉大会が開催されます ……10
- ・農業用ため池や農業用排水路の
安全管理対策の徹底を！ ……11
- ・土地改良相談所を開設しています ……12
- ・令和6年度 絵画・写真コンクール
作品大募集！！ ……12
- ・令和6年度受け入れ研修生の紹介 ……13
- ・令和5年度水土里ネットいわて資格取得者 ……13
- ・令和5年度水土里ネットいわて組織図 ……14
- ・土地改良区だより第9回水土里ネット岩手山麓 ……15
- ・編集後記

岩手県土地改良事業団体連合会第66回通常総会を開催

－令和6年度事業計画、一般会計予算など7議案を承認－

本会は、3月25日に、本会3階会議室において、第66回通常総会を開催した。

開会にあたり高橋隆会長は、「本県では、農業従事者の高齢化や減少により、農業生産や農地、農業用施設の維持管理の継続が難しくなっていることに加え、電力料金、燃料などのエネルギー価格や肥料などの生産資材価格の急激な高騰などの影響により、農業経営の更なる悪化が懸念されるなど農業・農村を取り巻く環境がより一層厳しさを増している。一方国際的な原材料価格の上昇や円安の影響から食料安全保障の強化が国家の喫緊かつ最重要課題となっており、農業の生産基盤を強化し農業の成長産業化を図ることがこれまで以上に重要となっている。国が掲げる土地改良長期計画と岩手県が策定した岩手農業農村整備の展開方向の実現に向け国や県、関係機関と連携し、役職員一丸となって努力していく。」と挨拶した。



【挨拶を述べる高橋会長】

来賓祝辞では、前島明成東北農政局長が、「農林水産省では食料農業農村基本法において食料安全保障の抜本的な強化、環境と調和のとれた食料システムの確立、人口減少下における農業生産の維持発展と地域コミュニティの維持の3つの観点から

見直しを進め、食料農業農村政策の新たな展開方向に基づく施策にしっかり取り組んでいく。東北農政局として、現場主義を徹底し地域の皆様の声をよくお聞きしながら農業農村整備事業を効果的に実施し、食料安全保障の強化対策に努めていく。」と述べた。



【祝辞を述べる前島東北農政局長】

総会では、令和5年度事業報告並びに決算、令和5年度補正予算、令和6年度事業計画並びに予算など7議案が審議され、全議案が原案どおり議決された。



【第66回通常総会の模様】

令和5年度土地改良功労者表彰

○役員部の部

氏 名	所 属	役 職 名
佐々木 春男	松 川 土 地 改 良 区	総括監事
本 宮 武 彦	安 代 土 地 改 良 区	前総括監事
阿 部 富 雄	大 迫 町 土 地 改 良 区	理事
瀧 澤 勝 見	照 井 土 地 改 良 区	理事
佐々木 久吉	真 打 堰 土 地 改 良 区	理事長
芳 賀 慶 一	山 田 町 土 地 改 良 区	理事

○職員等の部

氏 名	所 属	役 職 名
藤 原 正 浩	松 川 土 地 改 良 区	事務局長
高 橋 寿 子	松 川 土 地 改 良 区	総務課長
津 嶋 明 香	鹿 妻 穴 堰 土 地 改 良 区	総務課主査
平 賀 雅 之	岩 手 山 麓 土 地 改 良 区	事務局長
浦 田 和 浩	山 王 海 土 地 改 良 区	管理課主幹兼事業係長
多 田 瑞 幸	猿ヶ石北部土地改良区	業務グループ総括主査兼会計主任
千 田 貴 之	岩 手 中 部 土 地 改 良 区	事業課維持管理係長兼事業係
菊 地 清 子	照 井 土 地 改 良 区	嘱託職員



前列左から 阿部富雄氏 佐々木春男氏 高橋会長 佐々木久吉氏 本宮武彦氏 芳賀慶一氏
 後列左から 多田瑞幸氏 平賀雅之氏 高橋寿子氏 藤原正浩氏 津嶋明香氏 浦田和浩氏 千田貴之氏
 左上枠 瀧澤勝見氏
 右上枠 菊地清子氏

本県から2土地改良区、2氏が荣誉に輝く

－第65回全国水土里ネット表彰式－

3月26日、全国土地改良事業団体連合会（二階俊博会長）主催による第65回全国土地改良功労者等表彰の表彰式がシェーンバッハ・サボー（東京都砂防会館）において開催された。

全国土地改良功労者等表彰は、良好な運営を継続している土地改良区とその運営に多大な貢献をされた個人を表彰するもので、54土地改良区、個人113名が受賞し、本県からは、全国土地改良功労者等表彰の団体表彰を内之目土地改良区（佐藤和幸 理事長）及び二戸市土地改良区（五日市亮一 理事長）が、個人表彰を、瀬川智宏 山田町土地改良区理事長及び中村みゆき 市野々土地改良区事務局長がそれぞれ受賞した。

開会に当たり、二階俊博会長から「本日表彰を受けられる土地改良団体や行政職員の皆さんの長年の献身的なご努力に対し心から敬意を表すとともに、その気持ちを受け継いでしっかり頑張らなけれ



【挨拶を述べる二階会長】

ばならないと思う。今後の皆様のご活躍とご健勝を祈念申し上げます。」と式辞があった。

また、農林水産大臣の祝辞として「全国の土地改良関係者が、農業生産の基盤である農地と水を守ってこられていることに対し改めて深い敬意を表する。本日の表彰が、全国津々浦々で地域農業の振興にご尽力されている方々の励みとなることを願う。」と鈴木憲和 農林水産副大臣が代読した。



前列左から 菊池純子 本会事業調整監 中村みゆき 市野々土地改良区事務局長
二階俊博 全土連会長 瀬川智宏 山田町土地改良区理事長 山下知佳 本会主事
後列左から 進藤金日子 都道府県土地連会長会議顧問 小岩恭一 市野々土地改良区第一理事
千葉逸郎 内之目土地改良区第一理事 高橋隆 本会会長
佐々木建彦 山田町土地改良区事務局長 五日市亮一 二戸市土地改良区理事長

農を守り、地方を創る予算の確保に向けて

－『農業農村整備の集い』が開催－

6月10日、全国土地改良事業団体連合会は、令和7年度当初予算の確保と各種施策の着実な実施に向けて『農業農村整備の集い』を開催し、238名の国会議員臨席のもと、全国から1,230名が集結した。



【挨拶を述べる二階全土連会長】

開会に当たり二階俊博全国土地改良事業団体連合会会長は、「農家の方々に期待を持って働いていただける環境を作るために、十分な土地改良予算の確保に向け一致団結して頑張っていきましょう。また、男女共同参画は土地改良団体の強化のために必要不可欠な課題であり、しっかりと取り組んでいかななくてはならない。」と挨拶した。



【祝辞を述べる進藤会長会議顧問】

次に来賓祝辞では、進藤金日子都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問が、「6月に食糧・農業・農村基本法が改正されたが、来年は土地改良法の改正と5年間の具体的なアクションプランである食糧・農業・農村基本計画が策定される予定である。この基本計画に魂を込めるためにも、令和7年度予算を確保することはもとよ

り、これまでの効果を訴えつつ、課題がある農業農村を切り開いていけるよう、一緒になって頑張っていきたい。」と述べた。

続いて、『土地改良事業の計画的な推進のため、必要な予算を安定的に確保すること』など全7項目の要請案文について全会一致で採択された。



【情勢報告する宮崎会長会議顧問】

また、宮崎雅夫都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問から、令和6年度土地改良関係予算、改正された食糧・農業・農村基本法、5ヵ年加速化対策が進められている国土強靱化及び男女共同参画の推進について情勢報告が行われた。



【ガンバロウ三唱をする代表者】

農林水産省、財務省への要請をスタート

－岩手県と合同要請－

本会は岩手県と合同で、4月18日～19日、農林水産省と東北農政局に対し、農業農村整備の着実な推進のため下記について要請を行った。



【長井農村振興局長への要請】

左から、岩手県 黒田課長、東梅総括課長、今泉担当技監、佐藤部長、長井局長、本会 高橋会長、及川副会長、久保田副会長、千葉専務理事

農林水産省では、長井俊彦 農村振興局長を始め、青山(せいやま)健治 農村振興局次長、緒方和之 整備部長にそれぞれ面会し、岩手県の佐藤法之 農林水産部長、今泉元伸 農村整備担当技監及び東梅克美 農村建設課総括課長とともに、本会の高橋隆 会長、及川哲朗、久保田泰輝 両副会長及び千葉匡 専務理事が要請を行った。



【東北農政局 前島局長への要請】

東北農政局では、18日に岩手県の今泉元伸 農村整備担当技監及び東梅克美 農村建設課総括課長とともに、前島明成 東北農政局長及び清野哲生 東北農政局次長に面会し、要請を行った。

また、財務省には、本会の高橋会長、及川、久保田両副会長及び千葉専務理事が19日、進藤金日子財務大臣政務官と面会し、令和7年度農業農村整備事業関係予算の確保等について要請を行った。



【財務省 進藤財務大臣政務官への要請】

要請項目

- 1 農業生産基盤整備や農村地域の強靱化の着実な推進が図られるよう、令和7年度農業農村整備事業関係予算について、安定的かつ十分に確保すること。
- 2 農地の大区画化や汎用化等、中山間地域を含む農業生産基盤の整備や、国土強靱化に向けた農業水利施設の適切な更新・長寿命化、豪雨・地震対策等を引き続き推進すること。
- 3 土地改良区の運営基盤強化に向け、施設の省エネ化等による維持管理コストの低減化とともに、管理の省力化や高度な技術力を有する人材の育成により、施設の保全管理が適切に行われるよう支援すること。

農林水産省へ農業農村整備の着実な推進を要請 — 岩手県と合同で令和7年度当初予算の確保等について要請 —

本会は岩手県と合同で、7月29日～30日、農林水産省に対し、農業農村整備の着実な推進のため下記について要請を行った。

舞立昇治 農林水産大臣政務官と前島明成 農村振興局長に面会し、岩手県の今泉元伸 農村整備担当技監とともに、本会の高橋隆 会長、及川哲朗、久保田泰輝 両副会長が要請を行った。



【舞立政務官への要請】

左から、本会 久保田副会長、及川副会長、高橋会長、舞立政務官、岩手県 今泉担当技監、黒田課長

舞立政務官からは、「物価高の影響で工事単価等も上がっているため、計画の遅延が生じないよう7年度当初予算確保に向けしっかり努める。引き続き、鈴木俊一財務大臣への要請もよろしくお願い



【前島農村振興局長への要請】

したい。」などとコメントを頂いた。

前島局長からは、「日頃から農業農村整備事業の推進に御協力いただき感謝。要望についてはしっかり受け止め、今後の予算要求に役立てる。要望の根底をなすのは農業農村整備事業の関係予算の総額をしっかり確保すること。冬に向けて頑張っていきたい。今年は特に食料・農業・農村基本法の見直しがあり、これから5年間は集中的な改革期間という位置づけ。集中的に農業農村の構造を変えていくという時に、基礎になるのが農業農村整備事業。この事業を入れることによって地域の農業がこんな風になる、という未来の姿も併せて見せてほしい。また、財務省にも現場の声を届けていただきたい。」とのコメントを頂いた。

要請項目

- 1 スマート農業導入など所得向上に向けた農業生産基盤整備や農村地域の強靱化の着実な推進が図られるよう、令和7年度農業農村整備事業関係予算について、安定的かつ十分に確保すること。
- 2 土地改良法の見直しに当たっては、食料・農業・農村基本法の改正趣旨に鑑み、農村が有する多面的機能の維持に土地改良区が果たす役割を明確化するとともに、地域の声が反映されるよう関連支援制度の充実を図り、土地改良区の運営基盤を強化すること。
 - ・施設の維持管理の省力化・高度化に向け、水土里情報システム等デジタル技術を活用した管理運営への支援制度の充実
 - ・スマート農業等への需要が高まる中、新技術に対応できる人材の確保・育成に向けた支援の強化
- 3 多面的機能支払交付金の長寿命化対策は、国土強靱化に資するものであり、当初予算はもとより補正予算も含め地域の要望に対応できる十分な予算を確保すること。

岩手県へ農業農村整備の着実な推進を要請

－「収益力の高い食料・木材供給基地」と
「一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村」の実現に向けて－

本会は5月28日、高橋隆会長、及川哲朗副会長、久保田泰樹副会長及び千葉匡専務理事が、岩手県農林水産部佐藤法之 部長に対し、「農業農村整備の着実な推進に関する要請」を行い、佐藤部長から「令和6年度当初予算は、地域の要望を踏まえ昨年度以上の額を措置したところ。国に対しても引き続き、必要な予算の確保を要望していく。」とコメントを頂いた。



〔左から、千葉専務理事、及川副会長、佐藤部長、高橋会長、久保田副会長〕

要請項目

- 1 令和7年度農業農村整備事業関係予算について、県予算を十分に確保すること。
- 2 ほ場整備の新規地区が計画的に採択されるよう調査計画を引き続き推進するとともに、継続地区が早期に完了するよう事業進捗を一層図ること。
- 3 土地改良区の運営基盤強化に向け、施設の省エネ化等による維持管理コストの低減化とともに、管理の省力化や高度な技術力を有する人材の育成を図り、施設の保安全管理が適切に行われるよう支援すること。
- 4 食料・農業・農村基本法の改正を踏まえ、土地改良法の見直しにあたっては、本県土地改良区の実態を踏まえた現場の声が反映されるよう国に働き掛けること。

岩手県ため池サポートセンターが開設

－農業用ため池の適切な管理と保全に向けて－

令和6年4月22日に岩手県ため池サポートセンターが開設され看板掲揚式が行われた。

このセンターは、老朽化が進む農業用ため池の管理者等に対し、技術的な指導・助言を行い、施設の適切な管理と保全を図ることを目的に、岩手県が岩手県土地改良事業団体連合会内に開設したもの。

本会はこれまでも、ため池の劣化調査や廃止に向けた工事設計を行うとともに、ため池ハザードマップ作成や災害復旧支援等も積極的に推進してきたが、本日のため池サポートセンター設置を契機に思いを新たに、ため池の適切な管理と保全を実現できるよう、岩手県並びに関係機関と連携を密にし、本会職員一丸となり、県内の農業用ため池の防災減災に努めていく。



【看板掲揚式】

〔左から、本会 千葉専務理事、高橋会長、岩手県 今泉担当技監、東梅総括課長〕

【ため池管理者からの相談窓口】

毎週 火・木曜日※祝日、休日、
年末年始(12月29日～1月3日)は除く
9:00～12:00 / 13:00～16:00
TEL 019-903-8379
FAX 019-631-3262
E-mail iwate-tamesapo@iwatochi.com

土地改良団体における男女共同参画の推進を

－誰もが活躍する農業・農村を目指して－

土地改良区における男女共同参画を推進するため、女性理事登用の成果目標として、第5次男女共同参画基本計画、土地改良長期計画において以下のように目標が定められていますのでご紹介いたします。

○第5次男女共同参画基本計画

女性理事が登用されていない組織数 2016年度：3,737/3,900 ⇒ **2025年度：0**

理事に占める女性の割合 2016年度：0.6% ⇒ **2025年度：10%**

○土地改良長期計画

理事に占める女性の割合 2016年度：0.6% ⇒ **2025年度：10%以上**

※詳細は、全国土地改良事業団体連合会ホームページ(<https://www.inakajin.or.jp/gender-equality>)をご覧ください。

目標年度まであと1年となりました。県内で女性理事がいる土地改良区は、豊沢川土地改良区、胆沢平野土地改良区、石鳥谷東部土地改良区です（R6.9 現在）。

今年度も、土地改良区役職員の皆様方には男女共同参画実現のため、女性理事登用の推進をお願いいたします。

令和5年度いわて水土里ネット女性の会総会が開催

令和6年3月29日（金）に、本会3階会議室において、令和5年度いわて水土里ネット女性の会総会が行われた。

開会にあたり、菅原みゆき会長が、「昨年9月に開催された女性の会研修会の意見交換会では、『女性が外に出て、広い視野を持つことが重要だ』、『女性も土地改良事業についてもっと勉強する機会が必要だ』など積極的な意見が多く出された。このような研修の機会があることで、職員の交流も深まり、男女共同参画に対する意識も上がってくるものと思う。令和6年度の活動では、参加する皆様が楽しみながら活動できる研修を目指しているので積極的な参加をお願いします。」と挨拶した。

議事では、令和5年度活動報告・収支決算見込、令和6年度活動計画(案)・収支予算(案)、会則の一部改正の3議題について審議され、全議案が原案どおり可決された。



【総会の様子】

いわて水土里ネット女性の会 会員募集！！

－今年は一関市内で研修を開催予定－

いわて水土里ネット女性の会は 83 名 (R6.10 現在)の会員により構成されており、令和 3 年度の設立以降、水土里ネット女性役職員等が情報共有や交流等を図りつつ、農業農村整備事業と土地改良区等の円滑な業務推進に資するために、研修会の開催等様々な活動を行ってきました。

今年度は、一関市内のほ場整備や小水力発電の現場の研修や、他団体主催の女性活躍に向けた会議への出席を計画しております。

いわて水土里ネット女性の会へ加入希望の方、活動について質問のある方は下記担当までお問い合わせください。

○担 当

総務管理部管理指導課 草野、山下
TEL 019-631-3202 FAX 019-631-3261
Mail s-kanri@iwatochi.com

○会の目的

情報共有や交流等を図りつつ、農業農村整備事業と土地改良区等の円滑な業務推進に資すること。

○応募資格

目的に賛同する水土里ネットの役職員並びに農業農村整備に関心がある方。

○会 費

年 会 費 500 円/人

いわて水土里ネット女性の会の Facebook にて活動等を発信しています。ぜひご覧ください。



【Facebook QR コード】

第46回全国土地改良大会 千葉大会が開催されます

－令和 6 年10月22日（火） in幕張メッセー

令和 6 年10月22日（火）、千葉県千葉市において、「第46回全国土地改良大会 千葉大会」が開催されます。

○テーマ

『ふさの国から飛び立て水土里の恵み
力強く未来に繋ごう水土里の礎』

－大会日程－

○大会式典

令和 6 年10月22日（火）13：00～16：30
（幕張メッセ イベントホール）

○交歓会

令和6年10月22日（火）17：00～18：30
（幕張メッセ コンベンションホール）

○事業視察

令和 5 年10月23日（水）～24日（木）
（日帰り2コース,1泊2日2コース）

大会の詳細は、下記の「水土里ネット千葉ホームページ」をご覧ください。

<http://www.chibadoren.or.jp/>



【水土里ネット千葉 HP】

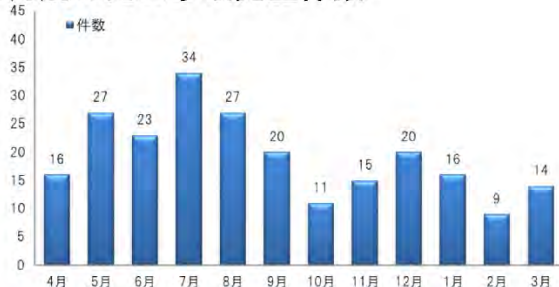


【大会パンフレット】

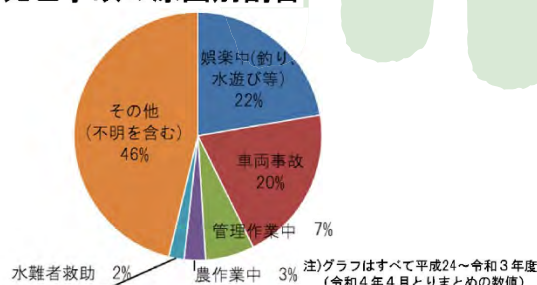
農業用ため池や農業用排水路の安全管理対策の徹底を！

農業用ため池や農業用排水路での事故は1年を通して発生し、その原因としては釣りや水遊びなどの娯楽中が最も多く、次いで車・自転車による転落事故となっています。

□月別の死亡事故発生件数



□死亡事故の原因別割合



【参考:ため池の安全対策の必要性(農水省 HP より)】

県内にも多くの農業用ため池や農業用排水路があります。これらの施設について、周りに人通りが多いか、子供の遊び場になっていないか、転落し易い形状になっていないか、過去に転落事故が起きたことはないか等、巡視・点検を実施し危険個所の再確認をお願いします。

万が一、危険防止等の対策がとられていない状態で事故が起こった場合、施設管理者(土地改良区等)が管理責任を問われることとなりますので、警告看板や侵入・転落防止柵を設置し、施設内への侵入を防止する措置をとることが重要です。

また、子供達にはため池や水路で遊ばないように、高齢者には必要以上にため池や用水路に近づかないよう呼びかけるなど、地域の皆さまと協力して悲惨な事故を未然に防ぎましょう。

事故の傾向から見た安全対策方法

ソフト：広報誌等による啓発活動、啓発ポスターの配布、安全対策マップの作成など

ハード：進入防止柵、転落防止柵等の設置、進入禁止及び警告看板、救命道具の常備など



【ソフト(例)啓発ポスター】

【ハード(例)転落防止柵の設置】

農業用ため池や農業用排水路の安全対策やため池の防災・減災対策に活用可能な補助事業について、下記を参考にしてください。

- ・ため池の安全対策事例集(農林水産省農村振興局防災課 令和5年3月)

https://www.maff.go.jp/j/nousin/bousai/bousai_saigai/b_tameike/attach/pdf/index-9.pdf

- ・農業用ため池の管理及び保全に関する事例集(農林水産省農村振興局 令和5年3月)

https://www.maff.go.jp/j/nousin/bousai/bousai_saigai/b_tameike/attach/pdf/index-18.pdf

- ・ため池の防災・減災事業に活用可能な補助事業(農林水産省 令和6年4月)

https://www.maff.go.jp/j/nousin/bousai/bousai_saigai/b_tameike/attach/pdf/index-50.pdf

土地改良相談所を開設しています

本会では、今年度も5月から土地改良相談所を開設しています。

土地改良相談（土地改良事業、土地改良法令等、賦課金滞納に関する事等）及び、財務管理強化相談を受け付けておりますのでご利用ください。

開設日：毎月第3月曜日

場所：岩手県土地改良事業団体連合会 管理指導課内

申込方法：土地改良相談は様式第4号、財務管理強化相談は様式第6号により、下記担当者までお申し込みください。

（様式については別途、相談所開設の案内時にメールにて送付いたします。）

※定期相談日以外でも随時相談を受け付けております。

担当：総務管理部管理指導課 草野

TEL 019-631-3202

FAX 019-631-3261

Mail k-kusano@iwatochi.com

令和6年度 絵画・写真コンクール 作品大募集！！

－応募〆切 令和6年11月8日（金）－

令和6年度『小中学生による「美しく豊かな村づくり」絵画コンクール』及び『「農村景観」写真コンクール』の作品を募集しています。

写真コンクールでは、応募方法について、「メールでの応募」も可能です。応募規定、注意事項等詳しくは本会ホームページに掲載の実施要領をご覧ください。



【本会 HP】

	絵画コンクール	写真コンクール
応募資格	岩手県内の小・中学生	特に限定しない
テーマ・部門	農村の美しい景観、お祭りや伝統的な風習等	(1) 風景部門…『スマート農業』や大区画化された農地、農村集落や水路などの農村風景 (2) 人物部門…農作業やお祭りなど農村生活における人物

毎年たくさんのご応募をいただいております。昨年度は、絵画77点、写真71点の応募がありました。（過去の応募作品、入賞作品は本会ホームページに掲載されております。）

今年度もたくさんのご応募、心よりお待ちしております。

兵庫土地連の職員が調査研究のため来県

令和6年9月5日から9月27日にかけて、水土里ネット兵庫事業部情報管理課の塩山龍世（しおやまりゅうせい）技師が本会の総務管理部水土里情報推進室において、山澤室長補佐のもと「水土里情報システムの技術習得」に係る調査研究を行いました。

塩山技師は、昨年11月にも同室に1週間ほど訪れ、水土里情報システムについて調査研究を行いました。今回の来県で更に同システムを活用した施設管理や多面的機能支払交付金制度等の事務効率化について知識を深めました。

今後、塩山技師が先頭に立ち、兵庫県内で同システムの有効活用が進むことを期待します。



水土里ネット兵庫
塩山龍世 技師

令和5年度水土里ネットいわて資格取得者

○技術士 (1名)



【高橋 敬史】

○土地改良換地士 (1名)



【一戸 千史】

○農業土木技術管理士 (2名)



【高橋 龍】



【吉田 長貴】

○農業用ため池管理保全技士 (2名)



【大村 力】



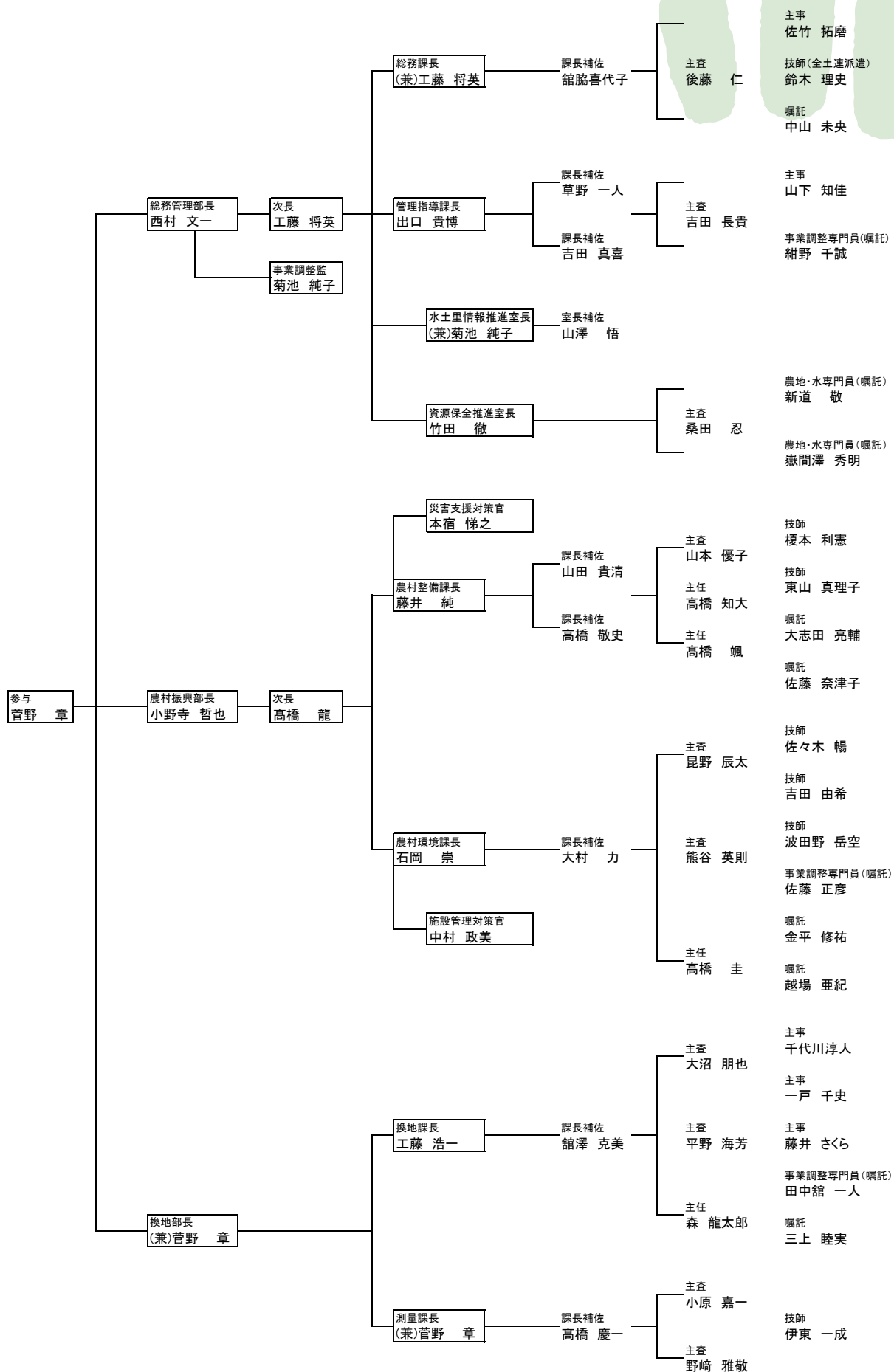
【山田 貴清】

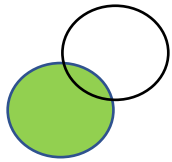
○会計指導員 (1名)



【吉田 由希】

令和6年度水土里ネットいわて組織図





土地改良区だより

第9回 水土里ネット岩手山麓 (岩手山麓土地改良区)

県内位置図



【円筒分水工】

本土地改良区の受益農地は、岩手県内陸北部に位置する滝沢市の全域及び盛岡市、八幡平市、雫石町、岩手町の一部にあたる3市2町に跨がる地域に広がっております。

受益農地の半分以上が国営岩手山麓開拓建設事業（昭和35年～42年）により整備された岩洞ダム及び岩洞用水路を水源としており、以前は複数の土地改良区が地域ごとに管理しておりましたが、2度目の国営事業導入を契機として平成24年7月に越前堰土地改良区、岩手山麓南部土地改良区、玉山土地改良区、岩手山麓土地改良区連合が合併し、今に至っております。

現在は、平成26年度に着工した岩洞用水路を改修する国営かんがい排水事業のほか、県営かんがい排水事業2地区を実施中であり、県営圃場整備事業「武道地区」が今年度で完了となるなど、基幹水利施設の機能保全、農業用水の安定供給、農業生産性の向上に向けた事業を行っております。

今後も持続的に発展する農業と多様な人が住み続けられる地域の実現に貢献するため、役職員一体となって業務に取り組んで参ります。



【北上川横断サイフォン】



【小岩井ため池】



【国営かんがい排水事業のトンネル工事で使用したシールドマシンと掘削後一次覆工した導水トンネル】

水土里ネット岩手山麓(岩手山麓土地改良区)

【理事長】 井上 良一

【所在地】 〒020-0611 岩手県滝沢市菓子 990 番地 9

【連絡先】 TEL : 019-688-8039 FAX : 019-688-4216

【受益面積】 2,757ha 【組合員】 2,266 名 【理事】 11 名 【監事】 3 名 【職員】 12 名

編集後記

10月に入り、少しずつ秋の気配を感じる季節となりました。

今年は雨不足により、水が十分に得られない中、土地改良区職員の皆様は用水の確保に苦勞されたことでしょう。

このような事態に対応するためには、水資源の効率的な利用が一層重要になると感じています。

また、ここ最近の米不足は、需要の高まりに対して供給が不足したことが要因の一つと考えられており、米作りに欠かせない農地や水を守る私たちの役割の重大さを実感させられる出来事でした。

日本の食文化の要である米作りを守り続けていくため、共に知恵を絞り、次の豊作に向けて歩んでいきましょう。

今月号も最後までお読みいただき、ありがとうございました。次号もどうぞお楽しみに。

(編集幹事)



発行所 岩手県土地改良事業団体連合会

〒020-0866 盛岡市本宮二丁目10番1号

TEL 019-631-3200

FAX 019-631-3260

<https://www.iwatochi.com>

編集発行人 千葉 匡

